

2021 年度 鉄道事業設備投資計画 安全対策、サービス向上、環境対策などに総額 214 億円 ～40000 系車両増備、駅改良を 3 駅で実施～

西武鉄道株式会社(本社:埼玉県所沢市、社長:喜多村 樹美男)では、お客さまへの安全・安心の提供を第一に、地域・社会と連携し、さらなる利便性の向上や快適なサービスの提供に努めています。2021 年度は総額 214 億円を投じ、安全対策、サービス向上、環境対策などの鉄道事業設備投資を進めてまいります。

《2021 年度の鉄道事業における設備投資の概要》

1. 安全対策

鉄道事業では、お客さまの安全の確保を最重要課題として安全対策投資に重点をおきます。

(1) 駅ホームの安全性向上

- 内方線付き点状ブロック、ホーム隙間転落検知システム整備工事

(2) 輸送の安全性向上

- 法面の改良、落石防護設備の設置、変電所の機器更新・改良、踏切支障検知装置の高機能化

(3) 新宿線連続立体交差事業の推進

- 【事業中】中井～野方駅間、東村山駅付近 【準備中】井荻～西武柳沢駅間、野方～井荻駅間

2. サービス向上

お客さまに快適にご利用いただけるよう、駅の改良工事や車両の増備を推進します。

(1) 駅空間の快適性向上

- ひばりヶ丘駅・多磨駅のリニューアル、西武園ゆうえんち駅の駅機能向上工事

(2) 車両の快適性向上

- 40000 系車両の増備(3 編成 30 両)

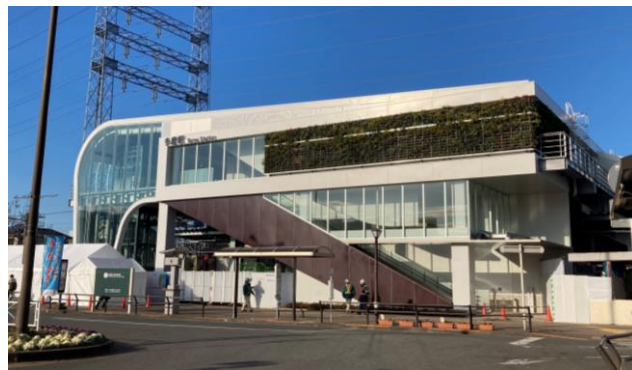
3. 環境対策

西武グループ CO₂ 削減目標達成に向けたサステナビリティアクションとして、引き続き、40000 系車両の増備や LED 照明の導入による省エネルギー化などの環境対策を推進します。

詳細は、別紙のとおりです。



ひばりヶ丘駅 南口 (イメージ)



多磨駅

【別紙】

1. 安全対策

お客さまの安全の確保を最重要課題としてとらえており、内方線付き点状ブロック、ホーム隙間転落検知システムなどの整備を推進します。また、輸送の安全を確保するため法面の改良、変電所の機器更新・改良、踏切支障検知装置の高機能化などの対策を進めるほか、安全で快適なまちづくりをめざして連続立体交差事業を推進します。

(1) 駅ホームの安全性向上

・内方線付き点状ブロックの整備

1日あたりの乗降人員が3千人以上の駅については2020年度までに整備が完了し、今年度は1日あたりの乗降人員が3千人未満の3駅(競艇場前駅・多摩湖駅・西武園ゆうえんち駅)を整備します。

・ホーム隙間転落検知システムの設置

ホーム隙間転落検知システムは、列車停車中に列車とホームの隙間に転落したお客さまを発見するための設備です。2020年度までに新井薬師前駅1番ホーム及び萩山駅3番ホームに設置が完了し、今年度は稲荷山公園駅1番ホームに設置します。

・ホームドアの整備検討

ホームドアは、ホーム上からの転落や車両との接触を防止するための設備です。2020年度までに1日あたりの乗降人員10万人以上のすべての駅にホームドアを整備しました。

2021年度以降も、国および自治体等の関係機関と調整を図り、引き続き設置を検討してまいります。

【既に整備が完了している駅】

池袋(2～6番ホーム)、練馬、西武新宿、高田馬場、所沢、国分寺



所沢駅ホームドア

(2) 輸送の安全性向上

・法面の改良

列車運行の安全を確保するため、線路に面した法面などを改良することで斜面の安定化を図り、土砂崩壊を防止して安全性向上に努めます。今年度は昨年度に引き続き、吾野～西吾野駅間、また新たに芦ヶ久保～横瀬駅間で実施します。

・落石防護設備の設置

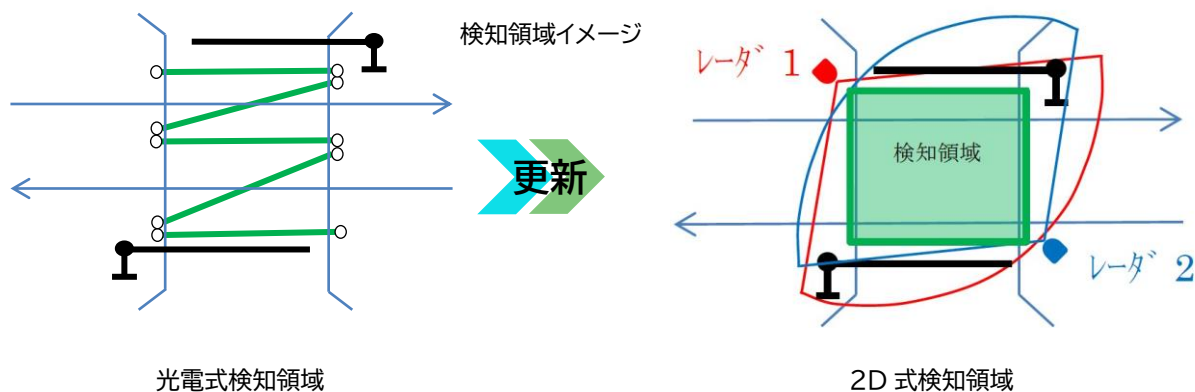
線路に面した斜面からの落石が列車に衝突するのを防ぐため、線路に沿って落石の進入を防止する柵を設置し、列車運行の安全性向上に努めます。今年度は昨年度に引き続き、芦ヶ久保～横瀬駅間で実施します。

・変電所の機器更新・改良

安定した電力を列車や鉄道施設に供給するため、変電所機器の更新・改良を進めてまいります。

・踏切支障検知装置の高機能化

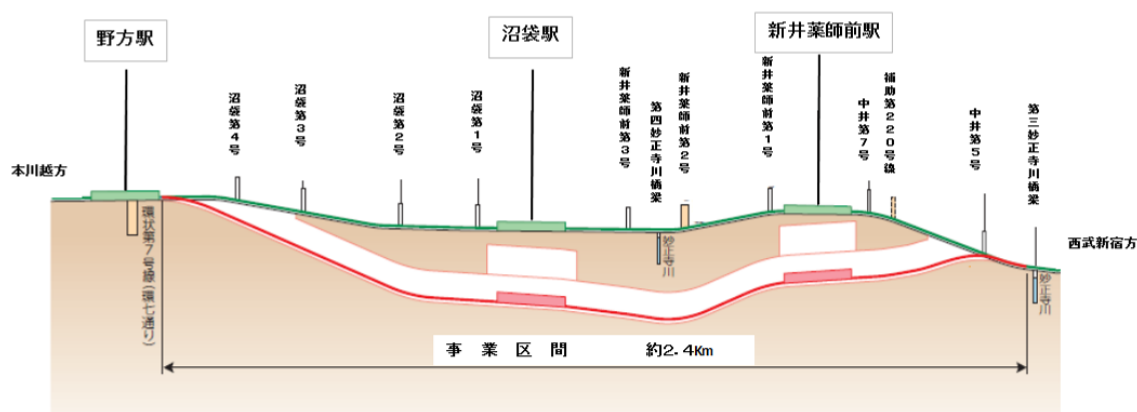
踏切のさらなる安全性向上を図るため、踏切障害物の検知方式を従来の「線」で検知する方式(光電式)から、「面」で検知する方式(2D式)へ更新することにより検知領域の拡大化を図りながら踏切安全対策を強化してまいります。今年度は10カ所の踏切に設置予定です。



(3)新宿線連続立体交差事業の推進

・中井～野方駅間連続立体交差事業(地下化)

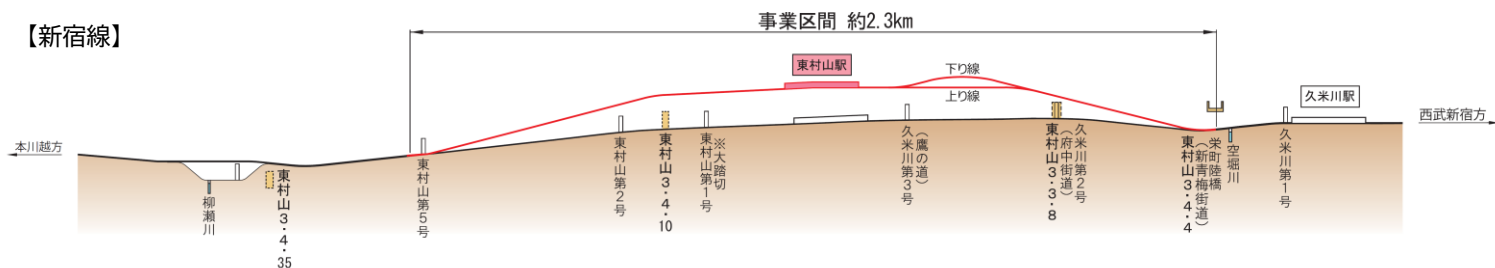
2011年8月に都市計画決定され、2013年4月に事業認可を取得、2014年1月に工事に着手しました。今年度はこれまでに引き続き、区間始末端取付部の土木工事や駅部の仮設工事を行います。この事業が完成すると7カ所の踏切が除却され、踏切での慢性的な交通渋滞の解消、道路と鉄道それぞれの安全性の向上、また鉄道により分断されていた地域の一体化が図られるとともに、連続立体交差事業を契機とした駅前広場などの整備が促進されることで、快適なまちづくりに寄与します。



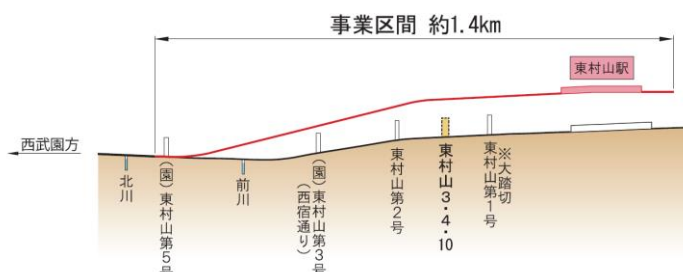
・東村山駅付近連続立体交差事業(高架化)

2012年10月に都市計画決定され、2013年12月に事業認可を取得、2015年1月に工事に着手しました。今年度は駅部・一般部の高架橋構築工事や新宿線終点方下り線、国分寺線、西武園線の仮線路切替工事を行います。この事業が完成すると5カ所の踏切が除却され、踏切での慢性的な交通渋滞の解消、道路と鉄道それぞれの安全性の向上、また鉄道により分断されていた地域の一体化が図られます。

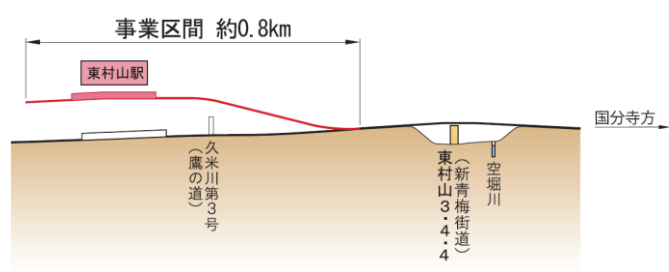
【新宿線】



【西武園線】



【国分寺線】



・井荻～西武柳沢駅間および野方～井荻駅間、早期事業化に向けた準備

2016 年 3 月に東京都により新規に着工を準備する区間として社会資本総合整備計画に位置付けられた、井荻～西武柳沢駅間および野方～井荻駅間の連続立体交差化計画の早期事業化に向けて、事業主体である東京都や地元自治体と協力し、新宿線沿線の安全性・快適性向上に努めます。

2. サービス向上

ひばりヶ丘駅、多磨駅、西武園ゆうえんち駅において、駅空間のさらなる利便性・快適性等の向上、地域活性化に向けて、引き続き、駅の改良工事及び機能向上工事を推進します。

また、40000 系(ロングシート)車両を増備し、より一層快適な移動時間を提供します。

(1) 駅空間の快適性向上

・ひばりヶ丘駅のリニューアル

ひばりヶ丘駅では、西武グループ一体となり、駅舎改修工事と駅ナカ商業施設のリニューアル工事を実施しております。2020 年度までに駅舎改良工事の旅客トイレ、南口エスカレーター改修が完了しています。駅ナカ商業施設「エミオひばりヶ丘」では、2021 年夏のオープンを目指して店舗増床・既存店舗改修を実施しています。改修前と比べて、約 7 割の増床を予定しています。多くのお客さまに、より便利で快適にご利用いただける駅をめざします。



ひばりヶ丘駅(北口)

・多磨駅のリニューアル

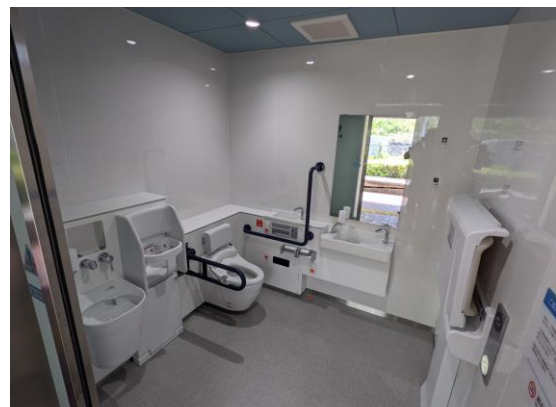
多磨駅では、2020 年度に橋上駅舎化及び自由通路を供用開始し、2021 年度の事業完了を予定しています。本リニューアルの実施により、新たに東口を新設しました。これにより、構内踏切を廃止し、ホームを拡幅することで混雑が緩和し安全性が向上します。また、エレベーター、エスカレーター等のバリアフリー施設の整備により、利便性が向上します。



多磨駅(改札内)

・西武園ゆうえんち駅の駅機能向上工事

西武園ゆうえんち駅では、西武園ゆうえんちのリニューアルオープンにあわせ、駅機能が向上します。西武園ゆうえんちの新たなメインエントランスとなる駅として、自動改札機の増設や旅客トイレの改修等を行うことで、より多くのお客さまに駅を快適にご利用いただけるようサービス向上を進めていきます。



西武園ゆうえんち駅(旅客トイレ)

(2)車両の快適性向上

・40000 系車両の増備

2017 年 3 月にデビューし、車いすやベビーカーをご利用のお客さまや大きな荷物をお持ちのお客さまにも便利な「パートナーゾーン」を設置した 40000 系車両を、ロングシート仕様で3編成(30 両)増備します。



車両外観



パートナーゾーン

3. 環境対策

西武グループでは、グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき、SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)への貢献を意識し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」として積極的に推進しています。地球温暖化抑制へのさらなる貢献に向けて、CO₂ 排出量原単位(営業収益当たり CO₂ 排出量)をグループ全体で2030年度までに2018年度比25%削減という環境負荷削減目標を設定しています。西武グループ CO₂ 削減目標達成に向けたサステナビリティアクションとして、引き続き、省エネルギー化などの環境対策を推進します。

・40000 系車両の増備

最新技術のモーターの採用などにより省エネルギー化・低騒音化をはかった車両である 40000 系新型通勤車両を3編成(30 両)増備することで、環境対策を推進します。

・LED照明の導入

LED 照明は消費電力が低く CO₂ 排出量削減の効果が期待できるため、駅や車両への LED 照明の導入を進めています。2021 年度は、増備する 40000 系車両への導入のほか、大泉学園駅、保谷駅、西武新宿駅、南大塚駅、玉川上水駅など計8駅で照明器具の取替に合わせて LED 照明を導入します。

- ※ 新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、今後の事業環境に変化が生じた際には、本計画の見直しを行う場合がございます。
- ※ お客さまに安心して鉄道をご利用いただくために、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けたさまざまな取り組みをおこなっており、ホームページ(<https://www.seiburailway.jp/>)にて公表しています。

◇お客さまのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター TEL.(04)2996-2888

音声ガイダンスのご案内により、メニューをお選びください。

[短縮営業時間:9時00分～17時00分(全日)]

※お客さまおよび従業員への新型コロナウイルス感染症の感染予防・感染拡大防止を目的に、当面の間、平日の営業時間を短縮しております。

以 上